

動物実験計画審査結果

動物実験責任者

所属 農学部 獣医学科

職名 助教

氏名 北原 豪 殿

宮崎大学長

菅 沼 龍 夫

申請番号 2010 - 021 - 6

1. 動物実験課題名
獣医臨床繁殖学実習 (後期・獣医学科5年次)

2. 実験期間
平成27年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日

- 計画書通り承認します。(以後、申請番号を承認番号とします。)
- 承認には計画の変更が必要であり、判定を保留します。
- 実験計画は承認できません。

委員会からの意見

備考

(様式2)

動物実験計画書 (更新)

平成 27年 3 月 2 日

宮崎大学 学長 菅沼 龍夫 殿

動物実験責任者

所属 (学部学科等) 農学部獣医学科産業動物臨床繁殖学研究室

申請番号 2010-021-6

職名 助教

内線番号 7655

氏名 北原 豪



1. 動物実験課題名 (具体的に記入してください。) 獣医臨床繁殖学実習 (後期・獣医学科5年次)				
2. 実験期間 開始予定 平成27(2015)年 4月 1日、終了予定 平成28(2016)年 3月 31日				
3. 動物実験実施者 (実験責任者、飼養者等を含め動物実験に関わる全ての者の所属、職名、氏名を記入してください。)				
氏名	所属	職名等	教育訓練受講履歴	
大澤健司	農学部獣医学科	教授	2013-3 木花	
北原 豪	農学部獣医学科	助教	2008-1 清武	
■■■■■	農学部獣医学科	学部4年	2013-1 清武	
■■■■■	農学部獣医学科	学部4年	2013-1 清武	
■■■■■	農学部獣医学科	学部4年	2013-1 清武	
獣医学科5年生	農学部獣医学科	学部5年		
4. 動物実験の目的 (実験の具体的手法ではなく、目的の概要がわかるように記入して下さい。) 牛5頭(雌)と犬(雄5頭、雌5頭)を用い、獣医臨床繁殖学実習を行う。牛は、直腸検査・経直腸超音波検査・人工授精・卵管疎通検査・胚回収の実習に用いる。犬は、雌で膈スミア検査、雄で精液検査の実習に用いる。				
5. 使用動物種	系統	微生物学的品質	上記実験期間中 使用予定頭数	導入元
牛	黒毛和種	コンベンショナル	5頭	住吉フィールド
犬	ビーグル	コンベンショナル	10頭	■■■■■
使用動物数の算出根拠 実習は5班体制(各班6-7名)で行うため、班で1頭ずつ(牛1頭、犬;雄1頭、犬;雌1頭)使用できるように算出した。				
遺伝子改変動物の導入 <input type="checkbox"/> 有(<input type="checkbox"/> 国内譲渡・ <input type="checkbox"/> 国際譲渡) <input checked="" type="checkbox"/> 無 譲渡元: 改変遺伝子名:			6. 使用施設 (飼育場所、実験場所にわけて記入。) 飼養管理施設: 農学部獣医学科動物舎 実験室: 大動物診療兼手術室	
7. 倫理的基準に基づいた動物実験の分類 (カテゴリー) <input type="checkbox"/> A: 生物個体を用いない実験、あるいは微生物を用いた実験。 <input type="checkbox"/> B: 脊椎動物を用い、動物に対してほとんどあるいはまったく不快感を与えないと思われる実験。 <input checked="" type="checkbox"/> C: 脊椎動物を用い、動物に対して軽度のストレスまたは痛み(短時間持続するもの)を伴うと思われる実験。 <input type="checkbox"/> D: 脊椎動物を用い、回避できない重度のストレスまたは痛み(長時間持続するもの)を伴うと思われる実験。 <input type="checkbox"/> E: 無麻酔下の脊椎動物に、耐えうる限界に近い またはそれ以上の痛みを与えるとと思われる実験。				
8. 特殊実験区分 (詳細を9-(1)欄に、具体的な安全対策を9-(2)欄に記載) 1. <input type="checkbox"/> 感染実験 安全度分類: <input type="checkbox"/> BSL1 <input type="checkbox"/> BSL2 <input type="checkbox"/> BSL3(接種微生物) 2. 遺伝子組換え動物 <input type="checkbox"/> 作成実験 <input type="checkbox"/> 接種実験 (区分: <input type="checkbox"/> P1A <input type="checkbox"/> P2A <input type="checkbox"/> P3A) 3. <input type="checkbox"/> 放射性同位元素・放射線使用実験(飼育場所: 使用核種:) 4. <input type="checkbox"/> 化学発癌・重金属・環境汚染物質・毒劇物等投与実験(投与物質名:) 5. <input type="checkbox"/> 細胞等の生体材料移植・接種実験				
9. その他必要または参考事項 (飼養保管施設・実験室の承認状況に加えて、過去の動物実験計画書承認実績、学内の関連委員会(組換え等)への申請状況、飼養保管施設・実験室の承認状況などをも適宜記入。) <input checked="" type="checkbox"/> 項目6に記入した飼養保管施設は、宮崎大学学長の承認を受けた施設である。 <input checked="" type="checkbox"/> 項目6に記入した実験室は、宮崎大学学長の承認を受けた施設である。 <input type="checkbox"/> 遺伝子組換え実験安全委員会、 <input type="checkbox"/> 医の倫理委員会、 <input type="checkbox"/> その他()に申請済み。 承認番号() <input type="checkbox"/> その他特記事項(具体的に記入)				

前回許可を受けた実験計画を変更せず継続して実施する場合、本書式に経過報告書を添えて更新申請を行って下さい。

受領日 27.3.2

審査結果通知日

(様式 3)

動物実験計画書 (実験従事者等(変更)・追加届)

変更、追加のいずれかを○で囲む

平成 27 年 3 月 2 日

宮崎大学 学長 菅沼 龍夫 殿

動物実験責任者

所属 (学部学科等) 農学部獣医学科産業動物臨床繁殖学研究室

職名 助教

内線番号 7655

承認番号 2010-021-6

氏名 北原 豪



1. 動物実験課題名

獣医臨床繁殖学実習 (後期・獣医学科 5 年次)

2. 変更・追加事項 (実験内容および責任者の変更は、「変更届」を新たに提出すること。また、遺伝子組換え動物の追加は遺伝子組換え実験安全委員会の承認を得ること)

1) 実験従事者変更・追加

変更前実験従事者 (実験責任者、飼養者等を含め動物実験に関わる全ての者の所属、職名、氏名を記入してください)

農学部教授・大澤健司、農学部助教・北原 豪、医学獣医学総合研究科 4 年・[REDACTED] 農学部 4 年・[REDACTED] 農学部 4 年・[REDACTED]、農学部獣医学科 5 年生

変更後実験従事者 (実験責任者、飼養者等を含め動物実験に関わる全ての者の所属、職名、氏名を記入してください)

農学部教授・大澤健司、農学部助教・北原 豪、農学部 4 年・[REDACTED]、農学部 4 年・[REDACTED]、農学部 4 年・[REDACTED]、農学部獣医学科 5 年生

2) 実験動物種及び使用数等の変更・追加

変更等について、計画書に求められる情報 (動物種、系統、微生物学的品質、頭数 導入元) を記載。頭数を変更する場合は、あらためて算出根拠を 4 欄に記載。

3) 実験実施期間の変更 (年度をこえる場合は更新として取り扱うこと)

4) その他

3. 変更・追加の理由

新年度より学生の入替わりが生じたため。

受領日 27.3.2

(様式5)

動物実験 経過報告書・終了届

※いずれかに必ず○を付けてください。

平成 28 年 3 月 31 日

宮崎大学長 殿

動物実験責任者

所属(学部学科等) 農学部獣医学科産業動物臨床繁殖学研究室

承認番号 2010-021-6

職名 助教

内線番号 7655

氏名 北原 豪



1. 動物実験課題名 (承認を受けた課題名を記入してください) 獣医臨床繁殖学実習 (獣医学科5年次、後期)				
2. 実験実施期間 予定期間 平成 27 (2015) 年 4 月 1 日 ~ 平成 28 (2016) 年 3 月 31 日 実際の期間 平成 27 (2015) 年 4 月 1 日 ~ 平成 28 (2016) 年 3 月 31 日				
3. 使用動物		期間中使用	実際の	予定数との
動物種	系統	予定頭数	使用頭数	差
ウシ	黒毛和種	5	5	0
イヌ	ビーグル	10	8	2
4. 実験動物の使用予定頭数と実際の使用頭数との間に大きな差があった場合、その理由を記して下さい 5班編成で、雌雄1頭ずつ/班の犬を実習に供す予定であったが、4班編成としたため、使用頭数を減じた。				
5. 動物実験の結果： <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり実施、 <input type="checkbox"/> 一部変更して実施(変更届が提出されていること)、 <input type="checkbox"/> 中止 <input type="checkbox"/> その他(具体的に) 結果の概要 ウシ(5頭)とイヌ(雌雄4頭ずつ)を用い、獣医臨床繁殖学実習として、ウシでは直腸検査、超音波検査、 膣検査、イヌでは膣スメア検査、精液検査における手技を、学部学生(33名)が学習した。				
6. 研究成果の公表(予定、準備中の場合は、その時期も記入して下さい) (1) 学会等発表(学会等名、開催期間・場所、演題名、演者名を記入してください) なし (2) 論文発表(雑誌等名、年・巻、論文題名、著者名を記入してください) なし (3) その他(教育講演等について時期、タイトル、場所等の情報を記入してください) なし				

※記入欄に内容を記入しきれない場合は、用紙を足して記入して下さい。

受領日 28.4.20

✓